

福祉厚生常任委員会審査日程

招集日時：令和7年12月10日（水曜日）午前10時

場 所：議事堂大会議室

1. 開議

2. 議案審査

議案番号	件 名	備 考
議案第53号	取手市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について	
議案第54号	取手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	
議案第62号	指定管理者の指定について	一括議題
議案第63号	指定管理者の指定について	
議案第64号	指定管理者の指定について	
議案第65号	指定管理者の指定について	
議案第66号	指定管理者の指定について	
議案第67号	指定管理者の指定について	久保田委員長 除斥
議案第69号	令和7年度取手市一般会計補正予算（第5号）（所管事項）	
議案第70号	令和7年度取手市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	一括議題
議案第71号	令和7年度取手市介護保険特別会計補正予算（第2号）	

3. 付託議案外質疑

4. 議案第67号以外の市長提出議案の討論・採決

5. 議案第67号の討論・採決

6. 請願審査

整理番号	件 名	備 考
請願第14号	ひきこもり支援基本法の制定を求めるための意見書提出を求める請願	請願者発言

7. 請願の討論・採決

8. その他（委員のみ）

9. 散会

※審査は議案番号順に行いますが、審査状況により変更となる場合があります。

※議案質疑・付託議案外質疑に係る原則課長補佐職以上のみ、かつ、自己の所管業務に関する部分に限ってのみの出席をお願いします。

※議案第69号の質疑と付託議案外質疑は、事前に通告することになっています。

福祉厚生常任委員会
「付託議案外」 質疑事前通告一覧表

令和7年第4回定例会

質疑 順位	質疑者	質疑事項	質疑要旨
1	古 谷 貴 子 委 員	高齢者新型コロナウイルス 感染予防接種の一部助成に ついて	1 接種状況 2 助成額の増額
2	根岸裕美子 委 員	市内介護サービス施設・事 業所の概況と介護現場の現 状について	1 介護施設・事業所数の推移 2 主な介護保険施設の1施設当たり定員、利用率 3 介護離職、ヤングケアラー等の把握状況
3	遠山智恵子 委 員	介護保険について	1 ケアマネ不足の上、利用者が探さなければなら ないことで私たちのところに相談が寄せられてい るが、手続き実態 2 介護保険運営で要となる地域包括支援センターの 役割 3 介護施設で働く職員の処遇改善の位置付け検討を
		国民健康保険について	1 国保連合会での保険料一元化についての計画及び 進捗状況 2 他市とは比較にならない国保基金額を維持してい るが、改めて基金の活用等 3 後期高齢者医療保険料や窓口負担増が検討されて いる今、国保基金の一部を一財繰り出しが可能であ ることを認めながら、なぜ実行しないのか

②「ひきこもり状態」の定義(厚労省「ひきこもりの評価と支援に関するガイドライン」)

さまざまな要因の結果として社会参加

(義務教育を含む就学、非常勤を含む就労、家庭外での交遊など)を回避し、

原則的には6か月以上にわたって概ね家庭に留まり続けている状態

(他者と交わらない形の外出をしてもよい)をさす現象概念

*2025年1月30日発信の厚労省「ひきこもりハンドブック」では期間は削除している。

状態像であって、「ひきこもりの人」がいるわけではない。病名/診断名でもない。

②ひきこもり状態の分類(15～39才)

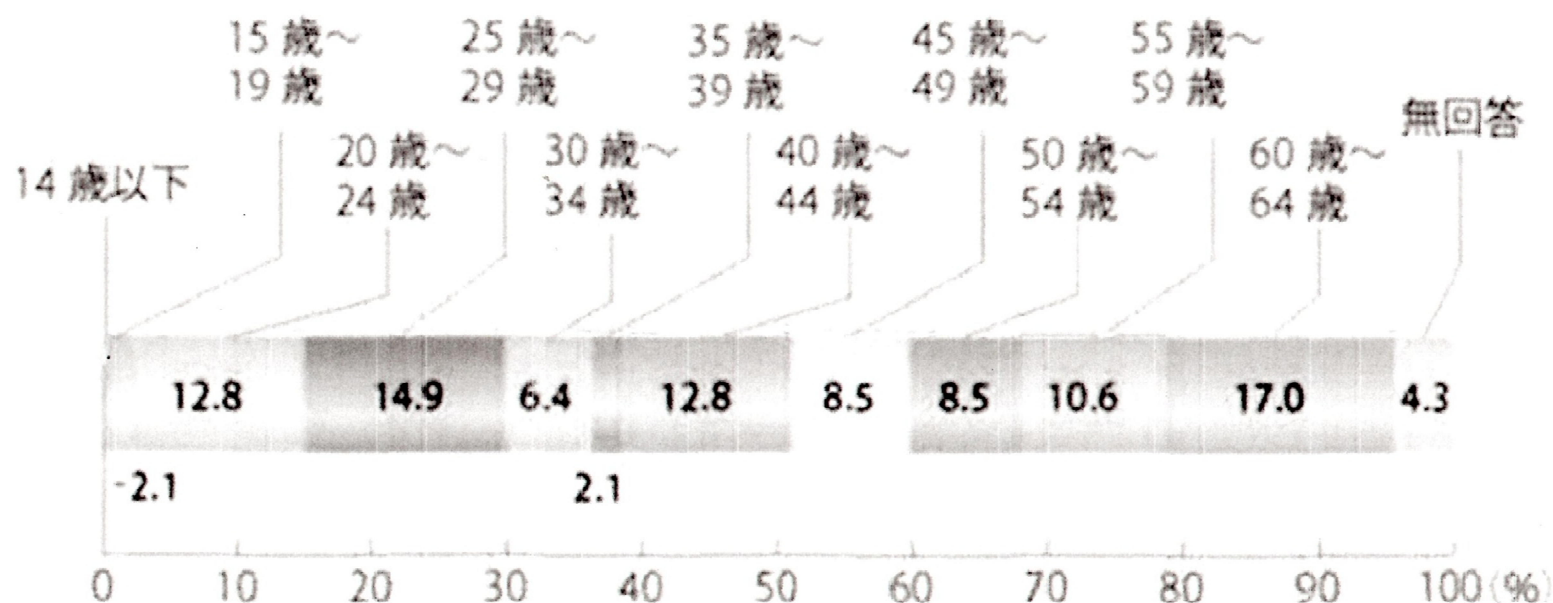
定義区分	状態	該当中の割合	
①狭義のひきこもり	自室からほとんど出ない	3 %	53%
“	自室から出るが、家からは出ない	15	
“	普段は家に居るが、コンビニなどには出かける	36	
②準ひきこもり	普段は家に居るが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出		47
広義のひきこもり	①+②		100-

(子ども庁/子ども若者の意識と生活に関する調査;令和6年度より)

ひきこもりは特別なことではありません

いつからでも起こりうる現象です

- ・初めてひきこもりの状態になった年齢



ひきこもり支援施策の全体像

令和5年度予算案：17.6億円

令和4年度第二次補正：59億円の内数

より身近な市町村域における相談窓口の設置と支援内容の充実を図り、これを都道府県がバックアップする体制を構築

市町村域

ひきこもり支援に特化した事業

段階的な充実

I ひきこもり地域支援センター

①相談支援、②居場所づくり、③地域のネットワークづくり、④当事者会・家族会の開催、⑤住民への普及啓発等を総合的に実施

II ひきこもり支援ステーション

ひきこもり支援の核となる①相談支援、②居場所づくり、③地域のネットワークづくり等を一体的に実施

III ひきこもりサポート事業

ひきこもり支援の導入として、任意の事業を選択して実施

重層的支援体制整備事業

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築
属性を問わない相談支援、参加支援
地域づくりに向けた支援 等

生活困窮者自立支援制度

(福祉事務所設置自治体)

自立相談支援事業

アウトリーチや関係機関への同行訪問
関係機関へのつなぎ 等

就労準備支援事業

就労準備支援プログラムの作成
ひきこもりの方がいる世帯への訪問支援等

ひきこもり支援体制構築加速化事業

※R4補正 ※都道府県認可

相談窓口や居場所設置等の準備費用や広報等の取り組みを支援



ひきこもり地域支援センターのサテライトの設置



都道府県から市町村への財政支援と支援ノウハウの継承
※原則2年後に市町村事業に移行

支援イメージ

～「多様な支援の選択肢」×「多様な主体による官民連携ネットワーク」～

取組の幅



①相談支援



②居場所づくり



③地域のネットワークづくり



④当事者会・家族会の開催



⑤住民への普及啓発

多様な取組や関係機関の連携を活かして一人ひとりの状況に応じたオーダーメイドの支援

連携機関の幅

精神保健福祉センター・保健所

家族会
当事者会

NPO
法人

社協

サポ
ステ

その他
関係機関

民生委員
・農林水産業
・医療機関

・企業、商工会
・ハローワーク
・教育機関 など

市町村プラットフォーム

後方支援

立ち上げ支援

ひきこもり地域支援センター

相談支援、居場所づくり、地域のネットワークづくり、家族会・当事者会の開催、住民への普及啓発に加えて、市町村等への後方支援と支援者研修等を総合的に実施する

都道府県（指定都市）域



市町村等への後方支援



関係機関の職員養成研修



多職種専門チームの設置 等

②支援の質の向上

③支援者のケア

①社会全体の気運醸成

①ひきこもりに関する地域社会に向けた広報事業（継続）

ひきこもり支援シンポジウムの開催
ひきこもり支援情報をまとめたポータルサイト運用 等

②人材養成研修事業（一部拡充）

ひきこもり地域支援センター職員等を対象とした初任者向け・中堅者向け研修の実

③支援者支援事業（新規）

支援者が抱える悩みの共有や相談できる場などの提供等を通じ、支援者をフォローアップ

③

厚生労働省

（出典：厚生労働省）